

LIBRARY News 9月号

東三鷹学園三鷹市立第六中学校
令和8年8月26日 No. 10
校長
図書館司書

夏休みに借りていた本の返却日は 8月31日（月）です！

展示中

夏休み明けは、なんだかちょっとブルー？ つらい気持ちにそっと寄りそう本たち。

三鷹市総合保健センター・三鷹市立図書館共催企画関連

『がんばらにやい生きかた』

Jam/著 笠間書院

『多分そいつ、今ごろパフェとか食ってるよ。』の
Jam さんの本。「1日1ページ読む感じで…」と
言ったのは3年男子。人生、ゆるーく行きましょ。

— 18日（金）に配布します —
「前期図書委員おすすめの本」
前期委員会活動、最後のお仕事です。
図書委員それぞれがイチオシの本を
紹介します。お楽しみに！

9月の図書館カレンダー

※急に変更になることがあります

月	火	水	木	金	土
	8/25 昼×/放× 始業式(返却 OK)	26 昼○/放×	27 昼○/放×	28 昼○/放× 各種委員会	29 地域開放 9:00~12:00
8/31 昼○/放○	9/1 昼○/放○	2 昼×/放× 鷹教研	3 昼○/放○	4 昼○/放○	5 地域開放 9:00~12:00
7 昼○/放○	8 昼○/放○	9 昼○/放× 職員会議	10 昼○/放○ 5時まで開館	11 昼○/放○ 5時まで開館	12 地域開放 9:00~12:00
14 昼○/放○ 5時まで開館	15 昼○/放○ 5時まで開館	16 昼×/放× 中間考査	17 昼×/放× 中間考査	18 昼○/放○	19 休 館
21 敬老の日	22 国民の休日	23 秋分の日	24 昼○/放○	25 昼○/放× 後期各種委員会	26 地域開放 9:00~12:00
28 昼○/放○	29 昼○/放○	30 昼×/放× 学園研究授業	通常開館時間 昼→昼休み 13:00~13:20 放→放課後 下校後~16:30 →ウラは新刊		

※新しく入った本を紹介します。★はリクエストされた本です。**貸出は31日(月)の昼休みから。**

分類	書 名	著者(出版社)	紹 介
019	つながる読書 10代に推したいこの一冊	筑摩書房	本が好きな人は読書の幅を広げるのに役立ちます。あまり本を読まない人は、さくらももこの『ひとりずもう』の紹介だけでも読んでごらん。きっと読みたくなるよ。
141	やらかした時にどうするか ★	畑村洋太郎	「やらかし」とは失敗のことです。失敗したことのない人なんていませんよね。その失敗をどう役立つものに変えていくか、のお話。
210	いま、日本は戦争をしている 一太平洋戦争のときの子どもたち	堀川理万子	戦時中に子どもだった全国の方々に話を聞いて作成。3年生が修学旅行で訪れた長崎の様子も掲載されています。
361	人は、なぜ他人を許せないのか？	中野信子	「人を許せなくなる脳の仕組み」を知って心穏やかに生きよう、というのがこの本のコンセプト。人に対して一度でも「許せない」と思ったことがある人は読んでごらん。
367	キミの一步 アフリカ ソウを食べるにはひと口ずつ	味田村太郎	海外在住の著者が自身の体験をもとにつづるエッセイシリーズの一冊。「ソウを食べるにはひと口ずつ」とはなんととも衝撃的な副題ですが、これはアフリカのことで、どんなに困難に見えることでも小さなことから始めれば終わりがくる、少しずつでも行動することが大切、という意味です。野生動物の多くが絶滅の危機にあり、保護を訴えています。
410	おい点P、動くんじゃねえ！ ニガテ民のための算数と数学の本 ★	とけいまわり/著	紹介文を載せておきます。《ニガテ総選挙 No.1 の速さ問題、脳が拒絶するつるかめ算や利益算…。ニガテ勢のかゆいところに手が届く、たくさんの「そうだったのか！」をつめこんだ画期的一書》だって。読み物としても面白い。
488	掛川花鳥園 鳥の事件簿	文一総合出版 ★	これまでの鳥関係の本と言えば「図鑑」の枠から出ない、お堅いイメージでしたが、この本は一度むけました。絵も、写真のアングルもいいし、文章も面白い！ 座布団一枚。
498	10代のためのココロとカラダの整え方	メイツ出版	自律神経のバランスがくずれると、心とからだの不調になり内蔵の働きも悪くなる。音楽を聴くのもいいんですって。
686	列車で行こう！最新版 JR 全路線図鑑 改定第2版	世界文化社	いつも乗り物の本を借りてくれる生徒さんがいます。期待に応えられるように新しい図鑑を購入しました。リクエストを待っています！
726	ヘタリア 5 ★	日丸屋秀和	世界各国を擬人化して4コマのコメディで描く、ファンが意外と多いシリーズ。外国をこんな視点で見ちゃうのね、って感じです。
913	カラフル ★	阿部暁子	六中でも人気、2025年本屋大賞『カフネ』の阿部暁子さんの作品。夢を見失ったふたりの高校生の再生&恋の物語。
913	「また、必ず会おう」と誰もが言った。 ★	喜多川 泰	小さなウソをついたことで熊本から東京まで一人旅をすることになった17歳の高校生。途中で出会った大人との触れ合いにこれまでの自分を振り返り、考えさせられながら成長していく物語。2010年に書かれた本をリクエストとは！ どこでこの本に出会ったのか聞いてみたい。
913	明日、あたらしい歌をうたう	角田光代	母くすかと息子新の人生を支えてきたのは、いつもそばにあった「歌」だった…。忙しい日常に自分を見失いそうとき、人間関係に疲れた時、小さな勇気と安らぎを与えてくれる、そんな作品です。くすかの友人 庭田さんの物事に動じない強さとひょうひょうとした物言いに惹かれた。
913	劇場という名の星座	小川洋子	劇場(帝国劇場)で働く人々にスポットをあてた連作短編集。まるでそこに居合わせたような錯覚に陥るリアルな描写。
914	孤独に生きよ 逃げるが勝ちの思考	田中慎弥	作家の田中慎弥さんのエッセイ。「孤独論」とは？誰かとつながっていないと不安な人、読んでみるといい。私も一人でいることは嫌いではありません。むしろ好きかも。
989	変わってしまったぼくの町、ぼくの学校 ウクライナの少年・ダニールが見た戦争	絵と文=ダニール	ロシアとウクライナの戦争は今年で3年になります。「戦争中でも人々は日常を送っている」のだそうです。戦争が日常化するというのがどんなことか理解できますか？ 一日も早い終結を望みます。